

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成27年7月の安らぎ通信



耐震改修補助金について

200万円の耐震工事が必要な方の大阪市の場合

- ①耐震診断：5万円の診断料の場合→補助金45,000円
- ②耐震改修設計：15万円の場合→補助金10万円
- ③耐震改修工事：200万円の場合→補助金100万円+20万円（27年度限り）

※制約：

- ①申請して交付決定が出る前に着工すると補助金は出ません。
- ②自己負担額によっては20万円の上乗せは、減額されたり出なかったりします。
- ③工事代の2分の1が上限。
- ④前面道路2.7m以上必要。
- ⑤耐震診断だけされた方は、後からでは設計補助は出ません。
- ⑥診断で構造評点が「1」未満でない補助されません。
- ⑦大阪市では、平成12年5月31日以前の建築、大阪府内の他の市町村では、概ね昭和56年5月31日以前に建築した建物が対象のところが多くなっています。

（2015年6月シティ信金だよりより抜粋）



世界最高強度のコンクリート — 太平洋セメント

現行の1.5倍、耐震性向上

太平洋セメントは、世界で最高の強度を持つコンクリート製品を開発しました。現行で最も強度が高いコンクリートより5割ほど強度を高めました。2016年度にも製品として売り出します。コンクリート製品として成形してから工事現場に運びます。

1cm²に4.5～4.6トンの重量がかかっても耐えられる強度です。

鋼材の強度は同2トン程度で、従来の最高強度コンクリートでも同3トン程度。

強度が高いため従来に比べコンクリートの使用量を減らし、構造物を軽くすることができます。（2015年6月3日 日本経済新聞記事から抜粋）

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2



地震保険料19%上げ — 政府・損保各社、来年秋にも 家庭向け、4区分に

政府と損害保険各社は、共同で運営する家庭向け地震保険の保険料を、全国平均で19%引き上げる方針を固めました。

損害区分は、現行の3区分から4区分に改め、被害状況に応じてよりきめ細かに補償。

現在3区分：全損100%・半損50%・一部損5%

変更後4区分：全損100%・大半損60%・小半損30%・一部損5%

地震保険の世帯加入率は27.9%で、年々伸びています。

(2015年6月4日 日本経済新聞記事から抜粋)



地震保険契約4.1%増 — 3月末、家庭向け1648万件 全都道府県で伸びる

損害保険料率算出機構は、3月末時点の家庭向け地震保険の保有契約数が1648万9482件となり、前年度と比べて4.1%増えたと発表しました。

全都道府県で増えたものの、伸び率は東日本大震災を受けた2011年度の10.5%をピークに鈍化しています。

地震保険は、通常の火災保険では補償されない地震や津波、火山の噴火による住宅、家財への損失に備える保険で、火災保険の特約として契約します。

(2015年6月23日 日本経済新聞記事から抜粋)



地震保険値上げ 2017年から — 1月以降 2～3段階で19%

政府と損害保険各社は、家庭向け地震保険料を2017年1月から引き上げる方針。

値上げは2～3回に分け、最終的に全国平均で19%引き上げます。

(2015年6月24日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781